

日本ユニコム

オンライン取引強化

専用サイト開設し新注文法

日本ユニコム（東京都中央区、高松公社長、03・5623・5111）は商品先物のオンライン取引事業を強化する。自社のホームページ（HP）上にオンライン取引の専用サイトを新設したほか、2011年1月をめどに業界で導入が計画されている新証拠金制度をにらみ、裁定取引など新しい売買注文法を5月までに取引システムに搭載する。オンライン取引は勧誘を伴わないほか、夜間取引で投資家のニーズが高まっているため力を入れる。

日本ユニコムは「コアクセスCX」の商品名でオンライン取引を展開。業界最低水準の手数料設定や顧客の投資スタイルに合わせて、相場表、チャートなどの画面をカスタマイズできるアプリケーション版を提供するなど力を入れている。主力事業の商品先物取

引では、オンライン取引のほか、対面取引とコールセンター取引を扱っておりHPは共通化しているが、今月6日にオンライン取引の専用サイトを立ち上げた。専用サイトを設けることで顧客の利便性を高める。

また、限月間や商品間の価格差を狙う裁定取引の注文法を5月までに取引システムに搭載する予定。具体的には東京工業品取引所の限月間の裁定取引に使うスタンダード・コンビネーション注文（SCO）や、ノン・スタンダード・コンビネーション注文（NSCO）を組み合わせ、業界が導入を計画する

「スパン証拠金」を基にした新証拠金制度が実現すると、これらの新取引の証拠金は現行よりも割安になるため、システム面でいち早く対応することを検討し、多面的に投資家を支援する。

さらに今後、取引システムのデモ版の搭載や、即時による相場分析や取引手法などを解説するウェブセミナーの開催などを検討し、多面的に投資家を支援する。